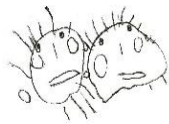


いっぽ だより



2024年度 No.5

2024年8月28日

はじめのいっぽ最大のイベント“いっぽまつり”が終わり、子どもたちの夏休みが終わり、季節は秋へと移り変わろうとしておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

心温まる出来事がありましたので、この場をお借りして皆様にお伝えしたいと思います。

いっぽまつりのお手伝いをしてくれると連絡をくれた、いっぽの卒業生のお宅へ、よろしくお願ひしますと挨拶に伺いました。その子（もう成人しておりますので子ではないですね）は、私を見送るために外に出てきてくれました。庭で育てている野菜の話などをしながら、「とても素敵な社会人になっていて、（他界した）わか子先生もうれしいと思うよ」などと話し終え、車に乗り出発しました。何気なく曲がり角で後ろを振り返った時、その子は、私の車に向かって深々と頭を下げ続けておりました。

その健気な姿に感動し、思わず車を止めて号泣してしまいました。小学生の時は場面緘黙で人前で話すことが出来ず、我慢することもたくさんだった子。優しすぎるために自分の気持ちよりも相手を優先することに慣れてしまいそれが当たり前だと思い込んでいた子。

そんな子どもの頃の姿が走馬灯のようによみがえり、なんてすばらしい大人に成長したんだろうと、本当の日本人の大和しぐさを身に着けていることに感動しました。そして、私自身それができているかどうか、反省する機会となりました。

人は幾つになっても、色々な人から感動をもらったり、学びを得られたりするんだなあ、改めて考えさせられる出来事でした。

さて、長い2学期がスタートしました。夏休みが長かった分、学校生活に、普段の生活に慣れるのに時間がかかってしまうかもしれませんが、チームいっぽ（職員一丸となってということです）として、子どもたちの成長を自分たちの子ども同様に見守っていこうと思います。

山本 寿果



8月の予定

日 時	
9月16日（月）	敬老の日
9月17日（月）	定例会議
9月22日（日）	秋分の日
9月23日（月）	振り替え休日
9月25日（火）	あっちこっち紙芝居

小中学生編

【2024年 いっぼまつり】



今年もやってきました、“いっぼまつり”子どもたちとの準備も年を重ねるごとに要領も良くなり、先を読む力が育ってきているなあと感じます。お神輿も年季を積み重ね貫禄が増したように思われます。担ぐ子どもたちのハッピーも、いっぼの物だけでは足りず、最寄りの町内会から借りたりと準備万端！ 大人になった時に良い思い出として残ってほしいとスタッフもフル回転しました。

当日の出店は、射的・おめん・わなげ・くじ・かき氷・お化け屋敷・フランクフルト・枝豆・バザーと10店舗、前半後半で店屋さん・お客さんを交代し、お父さんお母さんにも手伝ってもらい、にぎやかに笑い声溢れるお祭りとなりました。



【途別の収穫】 途別の、トウモロコシ・えだまめの収穫がいよいよ始まりました。いっぼ広場のトマトやキュウリも育ち、日々の子どものおやつになっています。また、収穫したトウモロコシの皮や枝豆の葉っぱは、羊たちのおやつです。





【十勝の河川を守る“川のふれあいホール”】

池田町にある、川のふれあいホールでは、職員の方から十勝の河川の説明を受けたあと、ジオラマを使った河川の増水シュミレーションや3D映像を見ながら体験するコーナーを楽しみ、初めての施設に子どもたちも大喜びでした。



【夏休みの海】

今年の夏休みは長節の海へ二度遊びに行きました。残念ながらシジミは季節外もあり、ほとんど採れませんが太平洋側の海岸は最高の遊び場です。砂浜があるだけなのになんでこんなにも楽しいのでしょうか？子どもたちは時間も忘れ、波と砂で遊び、引き波にバランスを崩し転倒した子が、海水を飲み込み「しょっぱ——い！」と笑顔ではしゃぎ、みんなの笑いを誘っていました。

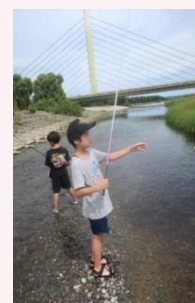
【夏休みの釣り】

以前から子どもたちに釣りを体験してもらいたいと思いつつも、道具をどうするか？釣場の安全面から踏み切れずにいたところ、一人の子が「先生、することな〜い」と、ぼそりと言われスタッフとしてショックを受けました。「釣りでもしてみるか？」と返すと以外にも即答で「うん！」と返事が

小学5年生の釣り姿はベテランの域に達しています。



返ってきました。すぐに道具を子どもと買いに行き仕掛けを作り、近くの売買川へ・・・するとすぐにあたりが来ました。その時の子どもの表情がなんとも生き生きとしており、夏休み中に始めて良かったと強く強く思いました。釣れる魚は、ニジマス・ヤマメ・ウグイ 10cm前後の小さな物ですが子どもたちにとっては竿に伝わる振動が新鮮な感動の様です。今は、餌釣りの短い竿ですが少しづつステップアップして行こうと考えています。ルアーやフライにも挑戦し大物をGETしたいと話しています。“はじいめのいっぽフィッシングクラブ”（勝手にクラブを立ち上げています）、安全面を最優先に考慮し4年生以上の参加を基本としています。子どもたちと釣りを始めて一番に感じたのは、子どもたちの心がゆっくりと開放されてゆく姿を目の当たりにしたことです。釣りって不思議ですね！



ひつじ組 編 (未就学児)

小学生のお兄さんお姉さんと仲良く手を繋いで歩く姿が多く見られた8月♪
ふとした時に隣で手を握ってくれる人の顔を見上げて、安心した表情を見せてくれた幼児さん。
反対方向に行こうとしたり、手を振り払う事もなく、協調性を育みながら互いに成長している姿が見られて微笑ましい限りです♪



みんなでお片付け♪

「〇〇君！今は絵本を聞く時間だよ！」と幼児さんを優しくエスコートし、そばで一緒に見守ってくれる1年生の男の子や、「とっても絵が上手いね～！」と傍で褒めてくれる4年生の女の子、時に「今はやりたくない気分なのかな？」と幼児さんの気持ちに寄り添いながら、たくさん関わりを楽しんでくれた小学生のみんな♪そんな心地良い環境の中で、思う存分に自分を出し切り、安心して過ごせた羊組のみんな。
優しさや思いやりのバトンはきっといつか自分がお兄さんになった時に引き継がれていくでしょう。



大好きな水遊びを満喫♪



スタンプ遊び♪



手遊びやわらべ歌を一緒に♪



程よい距離感で接してくれたお兄さんお姉さん♪



体調を崩して長く休んでいたふうかちゃん、元気に帰ってきてくれてありがとう！





たくさんのご家族の参加をいただき、スタッフみんなが励みとなりました。大変ありがとうございました。（ご家族皆様の写真を全て掲載できず申し訳ございません。）



こるりちゃん、おてつだい本当にありがとう。

おぼけのみんな、ありがとう！！来年また会おうね



ご家族の皆様ありがとうございます。そして、卒業生のみんな、いっぽを忘れずに来てくれてありがとう！